

情報連絡シート使用細則

【概説】

平成 24 年度厚生労働省モデル事業の在宅医療連携拠点事業の一環として、地域における在宅医療の推進を目的とした「在宅医療連携連絡会（合同カンファレンス）」を開催しております。その合同カンファレンスの中で地域課題及び解決策の一つに「共通の連絡シートの活用」が挙げられたのを受けて在宅医療連携連絡会において作成したものです。

この「情報連絡シート」は地域の在宅医療に携わる専門職種間ならびに事業所間の連絡をとる際に、使用するもので在宅医療を円滑に行うために作成された標準様式です。

患者または利用者の在宅療養生活を支えるために、多職種、多機関が連携を図り、それぞれの役割を發揮できることが大切であると考えます。そのための一つの連携ツールとしてこの様式を活用し相談・情報提供・情報共有が円滑に進み、患者・利用者の福利の向上と関係者の信頼関係が構築されることを目的とします。

【情報連絡シートの使用時の留意事項】

- この情報連絡シートは基本的には 2 枚構成です。

【フェースシート】・・・挨拶状や FAX のかがみとして利用してください。

また、相談や報告レベルの連絡事項（単体でも使用可）

【情報提供書】・・・各職種別で作成しているの【フェースシート】とあわせて使用して下さい。

- 医師・歯科医師・訪問看護師・介護支援専門員・薬剤師・栄養士・歯科衛生士など各職種別にシートを作成しています。
- このシートは一つの連携ツールとして利用するもので、他の様式の使用を妨げるものではありません。
- このシートはすべてを記載するものではなく、目的に応じて必要な部分を記載して使用してください。
- 使用方法は郵送、FAX、持参等、臨機応変に使用してください。
- 個人情報保護の観点から利用者・家族の同意を得ていることが前提です。また、FAX送信をする場合誤送信には、細心の注意を払ってください。
- 使用した情報連絡シートは送信者、受信者共に原本もしくはコピーを保管してください。
- フェースシートの連絡内容欄は挨拶、相談、報告、特記事項等自由記載欄として使用してください。
- フェースシートの返信欄は相談に対する回答、助言等に使用してください。
- この様式は送信者、受信者の関係性を保ってください。例えば、送信者の許可なく受信した情報を第三者へコピー等で転用しないでください。
- この様式は、必要最低限の情報を迅速に提供することを目的としていますので、不足部分は別紙または電話等の適切な方法で補足してください。
- 連携の基本は顔の見える関係づくりにあると考えていますので、文章のやりとりだけにこだわらず、直接面談、電話等を組み合わせて、そのケースに応じた情報交換を行ってください。
- 大学病院や規模の大きい病院では、地域連携の窓口が設けられています。このシートを送る前に一度当該病院の窓口で連絡をとり、医師との連絡方法を確認してください。

平成 25 年 3 月 在宅医療連携連絡会